

令和3年白老町議会全員協議会会議録

令和3年 3月26日（金曜日）

開 会 午前10時00分

閉 会 午前10時20分

○議事日程

1. 第6次白老町総合計画実施計画について

(1) I 実施計画の概要

II 計画体系図

III 計画事業費

(2) IV 実施計画

(3) 実施計画補正予算管理

○会議に付した事件

1. 第6次白老町総合計画実施計画について

(1) I 実施計画の概要

II 計画体系図

III 計画事業費

(2) IV 実施計画

(3) 実施計画補正予算管理

○出席議員（13名）

1 番	久 保 一 美 君	2 番	広 地 紀 彰 君
3 番	佐 藤 雄 大 君	4 番	貳 又 聖 規 君
5 番	西 田 祐 子 君	6 番	前 田 博 之 君
7 番	森 哲 也 君	8 番	大 淵 紀 夫 君
9 番	吉 谷 一 孝 君	10 番	小 西 秀 延 君
12 番	長谷川 かおり 君	13 番	氏 家 裕 治 君
14 番	松 田 謙 吾 君		

○欠席議員（1名）

11 番 及 川 保 君

○説明のため出席した者の職氏名

副 町 長	古 俣 博 之 君
副 町 長	竹 田 敏 雄 君

企 画 課 長	工 藤 智 寿 君
企 画 課 主 幹	温 井 雅 樹 君
企 画 課 主 任	鈴 木 哲 君
企 画 課 主 事	金 子 智 勇 君
企 画 課 主 事	吉 井 雅 晴 君

○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長	高 橋 裕 明 君
主 査	小 野 寺 修 男 君

◎開会の宣告

○議長（松田謙吾君） ただいまより全員協議会を開催いたします。

（午前10時00分）

○議長（松田謙吾君） 本日の全員協議会の案件は、第6次白老町総合計画実施計画についてであります。23日に担当課から説明がありましたが、不明点などの質疑や内容に対する意見等の協議を行います。

それでは、第6次白老町総合計画実施計画について協議を行います。3つに分けて進めてまいります。

1点目、概要、体系、事業費について質疑、意見のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松田謙吾君） 質疑なしと認めます。

次に2点目、実施計画について質疑、意見のある方はどうぞ。

3番、佐藤雄大議員。

○3番（佐藤雄大君） 実施計画についてですが、新規のものと検討中のものと今回、色分けされていたりして大分、見やすく分かりやすいのとおもいます。分析等の面で以前と違って工夫した点とか、つくり込みに当たって、そういったところがどのようなところかお聞きしたいとおもいます。

○議長（松田謙吾君） 工藤企画課長。

○企画課長（工藤智寿君） 実施計画の今までの相違というご質問でよろしいでしょうか。第6次総合計画の基本計画等の説明の中でもお話しさせていただきましたが、第5次総合計画と大きな違いは今回、成果指標を設けたということで評価しやすい形にさせていただきたいという思いの中で整理させていただいたということが、まず1点目にございます。細かいことでいうと、この間お話ししたとおり策定期の違、経過をきちんと年度当初から補正予算、決算も反映させていただきたいということも説明させていただきましたが、まずは成果指標をきちんと今後、検証していく上で、それから事業に対する総額でいくらかかって、どういう形になったのかという可視化という形にさせてもらったことが一番大きく変わった点ではないかと捉えているところをございます。

○議長（松田謙吾君） ほかにございませんか。

4番、貳又聖規議員。

○4番（貳又聖規君） 同僚議員の質問にも関連するのですが、ここまでの今回の実施計画、資料、ボリュームがある中で中身も濃いものに仕上げさせていただいたと評価をいたしております。その中であって、これだけのものを作るということは今回、関わった職員の皆さんの業務量がかなりあったと思うのです。そこで今後、大事なことはPDCAサイクルをどう回していくかというところでありまして、その中において皆さんのご苦勞された部分が私が推察するには今後、うまく効率的に企画課サイドの業務量も削減されているのかと見えたのですけれども、その辺はいかがでしょうか。

○議長（松田謙吾君） 工藤企画課長。

○企画課長（工藤智寿君） 今、P D C Aサイクルを回して職員の負担分ということでございます。評価いただいたということについては、担当も含めて非常にありがたい、うれしい気持ちでございます。そもそも、なぜこういう形できちんと整理しないといけないかという発想に至ったのか、実は第5次総合計画でございまして、第5次総合計画の我々が評価していく中で、ローリングしながら実施計画を作っていく上で、今までの補正予算であったり、決算であったり数字のところはきちんと整理されていない中で、逆に評価するときに大変手間取ったというのが実務上でございました。業務量もそれが課題になっていた部分もありますので、きちんと整理し、運用していくことによって逆に業務量が減っていくという期待も込めて今回、このような整理をさせていただいたという内容でございます。

○議長（松田謙吾君） 4番、貳又聖規議員。

○4番（貳又聖規君） 工藤企画課長から説明ありましたが、ここまできちんとしたものを作っていただきましたので、ぜひP D C Aの運用は各課できちんと進めていっていただいて、進行管理できる、運用面を今後、充実させていただきたいと思っております。

○議長（松田謙吾君） 工藤企画課長。

○企画課長（工藤智寿君） 本当に今、貳又議員が言われたとおり結果、数字を入れたのがいいということではなくて、P D C Aサイクルをきちんと回していくということが非常に大事ですし、そのための成果指標もございます。我々としても成果指標を設けさせていただいておりますけれども、それが達成されたからよかったよかったではなくて、さらに高みを目指していくということも含めて考えていかなければならないということで、これは企画課ばかりではなくて役場庁舎内全体で可視化も図っているということで、皆さんに分かっていただけるようにするために、運用もきちんと図っていくようにしていきたいと思っております。

○議長（松田謙吾君） ほかにございませんか。

長谷川かおり議員。

○12番（長谷川かおり君） 私は本当に今回、この総合計画がありまして、細かい実施計画が出されまして、分かりやすく見ることができました。その中で1つ、要望というか提案させていただきたいのですけれども。今、コロナ禍の影響で女性特有ではありますけれども、経済的な理由で生理用品が買えないという、生理の貧困というものが問題になっておりまして、実施計画の防災・減災なのですけれども、そのところで今年度、防災マップを発行するというので予算は多く取られていますけれども、それ以降は防災に関する備品、災害に対する備品の更新と書いていまして、その中に白老町災害時備蓄方針で生理用品は消費期限というものがないのですけれども、備蓄期限を5年間と定めておりまして、5年に1度更新していくと盛り込まれておりますので、それに対して今後、例えばコロナではありますけれども防災訓練のときに生理用品を配布するとか、小中学校にそのものを無料配布するような各課の連携で、そのようにうまく活用するということはできないものか、私の要望なのですけれども、その考えをお聞かせください。

○議長（松田謙吾君） 工藤企画課長。

○企画課長（工藤智寿君） 災害用の備蓄の関係でございます。今、具体的に生理用品ということもお話ありましたけれども、これは今後の先ほど言いましたP D C Aサイクルの中で本当に何が不

足していて、何が必要なのかという当然、備蓄品も様々な物品がある中で食品もそうですし当然、期限もございますので、それをどう活用して無駄なくということが出来るのかも含めて、各課連携しながらやっていかなければならないということで進めていきたいと考えてございます。

○議長（松田謙吾君） ほかにございませんか。

2番、広地紀彰議員。

○2番（広地紀彰君） 同僚議員から関連した質問が何点かありました。私も今回、例えばこの実施計画が示される中でこれが実現するとどういうまちになるのか見える形で作っていただきたい、また検証可能なように数値も設けるべきだといった部分、発言をさせていただいており、発言の立場から見ても明記されて、基本施策それぞれにこれが達成されることによって、どのようなまちが実現していくのかといった部分が明らかにされているのは、私は評価したいと思っています。検討中の事業も盛り込んであります。私もこの姿勢はすごくいいと思うのです。計画的にまちづくりを進めていきたい、ただし現在としてはまだ具体的な形として示すに至っていないものもあえて載せたのかと捉えておりますが、検討中の項目まで踏み込んでこの実施計画に載せていった考え方、その辺りをどのようにお考えになったのかお聞きします。

○議長（松田謙吾君） 工藤企画課長。

○企画課長（工藤智寿君） このたび、検討中という事項を載せさせていただいたのは、もう既に実際に動いているといいますか、予算化がまだまだ数字的に見えないというところもありますけれども、今後ローリング方式でやっていく部分で今、2期目ということで3期目のときには当然、予算計上なり予算事業費がこうなるということを見やすくするために、頭出しといいますか実際に検討に入っていますということをお知らせさせていただいているという内容になっていますので、もう既に事業費まではいかないのですけれども、業務として取り組んでいるというところをきちんと見える化させたというところも1つ今回、載せさせていただいたということでございます。

○議長（松田謙吾君） 2番、広地紀彰議員。

○2番（広地紀彰君） 私はまちづくりを計画的に進めていくという考え方にのっとり考えれば、あえてまだ検討中だけれどもというところから議会に対して開いていくという姿勢がここから見て取れて、こういう形で作っていくべきではないかと改めて感じています。PDCAはしっかりと回していくべきという同僚議員の発言もありました。私もそう考えています。特に予算科目を見たら当然、主管となる担当課というのははっきりするわけですが、事業の中身によってまた今回の基本方針の中で成果指標をあえて、もしかしたらときに批判されることも承知の上で、このようにしっかりと刻んだという部分を、どうやって掲示していくかということをお問われるべきであって、特に各課をまたいで大きな指標があります。ましてや今回のづくりでは重点プロジェクトに位置づけられているものに対しては人口抑制だとか、そこまでしっかりと踏み込んで作っていますので、そういった部分から考えると検証をしっかりと各課をまたいだ検証体制も必要ではないかと考えますが、最後に検証の考え方についてお聞きします。

○議長（松田謙吾君） 工藤企画課長。

○企画課長（工藤智寿君） 検証の仕方でございます。今、広地議員がおっしゃられたとおり事業の内容によっては各課連携してやらなくてはならない事業もたくさんございます。そういった中で

は庁舎の中ではプロジェクトチームであったり、横の連携であったりと、それと持分といいますかそれぞれの各課の中でこの部分は我々が担うよとか、こちらの部分は頼むよという横の連携も図りながら様々な形で事業を実施させていただいております。当然、これにつきましては結果が出てきまして評価もさせていただかなければいけませんし、P D C Aサイクルを回して実施計画の評価というのも今後、当然ながらやっていくのですけれども。その中で成果指標の在り方ということもございまして、評価の仕方も実際に内部評価と外部評価ということで第5次も含めてやらせていただいておりますけれども、同じ形で評価させていただく、各課にまたがっているからそこは誰がやるのかということではなくて、各課携わった内部評価といった部分と、外部の評価ということで合わせた形の中できちんと評価、検証をしなければならぬと考えてございます。

○議長（松田謙吾君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松田謙吾君） それでは、質疑、意見なしと認めます。

次に3点目、補正予算管理について質疑、意見のある方はどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松田謙吾君） 質疑、意見なしと認めます。

最後に全体を通してありませんか。

5番、西田祐子議員。

○5番（西田祐子君） 今回の計画については今後、白老町の動向を見極めながら柔軟にやっていただけるものと期待しております。1つだけ、町長の公約と今回作られた中身のものなのですが、例えば昨年もそうですし今もそうですけれども、コロナのような突発的なことがこれからも当然起きてくるわけです。そういうときに対応を一体誰がどこでどうかじを切ってやっていくのか、その辺のお考えをお伺いしたいと思います。

○議長（松田謙吾君） 工藤企画課長。

○企画課長（工藤智寿君） まず、突発的な事故の取り扱いについてということでございます。今年度でいいますと、コロナが大きかったかということで補正予算もかなりの事業をやらせていただきました。その管理という部分は今、特命事項ということで企画課が中心となって役場庁舎全体でコロナ対策ということで取り組んでおります。ただ、突発事故というのはコロナばかりではなくて、災害など様々なことが想定されますけれども、どこがというよりも役場職員が全体で取り組んでいかなければならないと思いますし、突発事故そのものによってはどこが仕切るといいますか、音頭を取るといいますか、そういったことが必要あるかと思えます。本当に突発事故はどこの部署は関係ないとかそういう話ではなくて、災害についてもそうですけれども、役場職員全体で取り組んでいかなければならないということでございますので、ただそれにかかる事業の補正予算であったり、今後にある決算であったり、それ絡みのP D C Aサイクルの振り返りの部分についても、企画担当部署がきちんと押さえた中で、それをフィードバックするときには当然、役場のほかの職員もきちんと可視化した中で、反省しながら次の行動に移せる体制はきちんと取っていかねばならないと考えてございます。

○議長（松田謙吾君） 5番、西田祐子議員。

○5番（西田祐子君） 私は今回これを聞きましたのは、今までの企画課とそのほかに政策推進課というのが新しくできました。どちらが責任をもって音頭を取るのかというのが分からないものですから、その辺の考え方を伺いたかったのです。平常であれば決められたとおりにやっていけばいいだけなのですけれども、そうではないものが出てきたときの考え方は、一体どちらがハンドルを握っているのだろうということです。それについて伺いたかったのですけれども。

○議長（松田謙吾君） 竹田副町長。

○副町長（竹田敏雄君） どちらがリードを取るかということですが、実行計画につきましては、企画財政課の中の企画グループの中でPDCAサイクルを管理しながら、そして各課で連携を取りながら評価をしていくということになると思います。緊急時、特別な事故、例えば今話が出ましたけれども、コロナということになれば実質、コロナ対策をどうしていくかということになると思いますので、それは要因によって先ほど工藤企画課長からも話がありましたけれども、まずは第一に担当する課というのが出てくると思うのです。その課だけで処理しきれない場合には、今回の新しい組織の中でリードを取っていくという形になりますので、そこで取組をしていくということになると思います。特別なこと、緊急なことがどんなことなのかということからスタートすると思うのです。そのことで、そこがやらなければならない課だけでできないとすれば、企画部門での取り扱いということになると思いますし、当然、複数の課にまたがりますので、その部署でリードをしながら各課から情報等を集めて、こうやっていきたいと思いますという形でやっていきたいと思っています。

○議長（松田謙吾君） 5番、西田祐子議員。

○5番（西田祐子君） 今回、新しく組織もできましたので、私としましてはスムーズにその辺をやっていただければありがたいと思っておりますので、その辺をうまく調整して私たちも分かる形で動いていただければと思います。

○議長（松田謙吾君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松田謙吾君） なければ、これをもって、第6次白老町総合計画実施計画についての協議を終了いたします。

◎閉会の宣告

○議長（松田謙吾君） 以上をもって、本日の全員協議会を閉会いたします。

（午前10時20分）